

## 環境技術実証モデル事業

## 閉鎖性海域における水環境改善技術分野（新規分野）の進捗状況及び今後の予定について

## 1. 平成 18 年度の進捗状況

## 【ワーキンググループ（WG）開催経緯等】

平成 17 年度に自治体アンケートおよび有識者ヒアリングを実施した結果、閉鎖性海域における水環境改善技術について、幅広い実証ニーズが存在することが判明した。

このため、平成 17 年度第 3 回環境技術実証モデル事業検討会（平成 18 年 3 月 15 日開催）において、新規分野として以下の技術を追加することとした。

## 【対象とする技術の内容】

- ・ 水質の悪化により、貧酸素水塊や赤潮等が発生し、生態系等に悪影響が生じている閉鎖性海域において、水質および底質の直接浄化に資する、または生物生息環境の改善に資する技術分野。ただし、現場で直接適用可能なものを基本とし、しゅんせつ等大規模な土木工事等を要するものを除く。

## 2. 今後の予定

## 【平成 18 年度】

- ・ 18 年 10 月 23 日：第 1 回 WG 実証試験の位置づけの検討、試験方法の枠組みの検討、対象技術の検討 等
- ・ 18 年 11 月：第 2 回 WG 実証試験要領（第 1 次案）の検討
- ・ 18 年 12 月：第 3 回 WG 実証試験要領（第 2 次案）の検討、関係者による意見陳述
- ・ 19 年 1 月：第 4 回 WG 実証試験要領（第 3 次案）の検討
- ・ 19 年 2 月：実証試験要領の公表、実証試験機関の募集
- ・ 19 年 3 月：第 5 回 WG 実証機関の選定

## 【平成 19 年度】

- ・ 実証機関による実証試験を開始

（WG 検討員名簿は資料 1 - 7 - 2 参照）

平成 18 年度環境技術実証モデル事業検討会  
閉鎖性海域における水環境改善技術ワーキンググループ  
検討員名簿（案）

上嶋英機（広島工業大学 環境学部 地域環境学科 教授）

岡田光正（広島大学 副学長）

中村由行（独立行政法人港湾空港技術研究所 海洋・水工部 沿岸環境領域長）

西村 修（東北大学大学院 工学研究科 教授）

松田 治（広島大学 名誉教授）

（敬称略 50 音順）

この他、地方公共団体の研究所および行政機関の職員から各 1 名が検討員として参画予定。